

「ヒューマンライツ・フェスタ東京 2019」実施報告

令和元年11月9日(土)、16日(土)、17日(日)に「ヒューマンライツ・フェスタ東京2019」を開催しました。

9日は新宿駅西口広場イベントコーナーで、16日17日は東京国際フォーラムでの開催となりました。両会場ともに、多くの方にご来場いただきました。

11月9日(土)新宿駅西口広場イベントコーナー

【ステージ】

○村崎太郎さんトーク&猿まわし

日光さる軍団で有名な村崎太郎さんに、ご自身の体験をもとに、猿まわしの歴史や、同和問題、差別解消に向けたお気持ちについて、お話ししていただきました。

村崎さんのトークの後は、お弟子さんによる猿まわしの実演が行われました。お猿さんのかわいらしさと大技の連発に、大勢のお客さんから大きな拍手が起きました。

○吉本×人権×笑い

皆さんご存じの吉本興業の芸人さん達によるトークライブを行いました。外国人、性自認及び性的指向、インターネット等それぞれの体験を基にした笑いあり涙ありのライブでした。会場の外では即席写真撮影会が開催され、こちらも大盛況でした。

○“全盲のシンガーソングライター”木下航志さんライブ

木下航志さんは、未熟児網膜症のため生後1か月で失明し、2歳からおもちゃのピアノを弾き始め、8歳からストリートライブをスタートしました。目の光を失っても希望の光は失わない、木下さんの演奏と歌唱を耳にした通りすがりの方々がどんどん集まって来て、会場にあふれんばかりの人だかりとなりました。

【パラリンピック競技体験】

(公財)東京都人権啓発センターの協力で、ボッチャ体験を実施しました。どなたでも簡単に体験することができるので、多くの方々に参加していただきました。



村崎太郎さん



猿まわし



吉本×人権×笑い



木下航志さん



ボッチャ体験

【ブース出展】

○国立療養所多磨全生園「人権の森」構想啓発ブース

多磨全生園のある東村山市に「人権の森」構想啓発のブースを出展していただきました。多くの皆様に、ハンセン病回復者の方々への偏見や差別の歴史・「人権の森」構想を紹介し、名誉回復や偏見・差別の根絶に向けた取組について、ご案内いただきました。

○東京 2020 大会 PR

板橋区の協力で、東京 2020 大会エンブレムパズルを設置しました。同じ数の 3 種類の異なった形の四角形で、オリンピックとパラリンピックのエンブレムが作られていることを体験していただくとともに、アンケートにお答えいただいた方に、エンブレムバッジも配布しました。

○拉致問題解決を願う署名活動

「北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（救う会）」と、「特定失踪者問題調査会」の方々による、拉致問題解決を願う署名活動が行われました。多くの方々にご署名いただきました。どうもありがとうございました。



「人権の森」啓発ブース



東京 2020 大会 PR



拉致問題署名活動

【パネル展示】

東京都が取り組む様々な人権課題をパネルにし、皆様にご紹介しました。また、東京都が作成した人権啓発冊子やリーフレットを展示し、多くの方々に手に取っていただきました。著名人からのメッセージや高校生の人権メッセージも併せて展示し、多くの方に見ていただきました。



人権啓発パネル



著名人からのメッセージ



高校生の人権メッセージ

11月16日(土)、11月17日(日) 東京国際フォーラム

【ホールD7】

○トークショー (17日)

「オリンピック・パラリンピックと人権」をテーマにした、競泳オリンピックメダリストの松田丈志さん、車いすテニスパラリンピアン之二條実穂さんのトークショーを行いました。お二人の海外での体験談や質問コーナー等、とても盛り上がりました。

トークショーに先立ち、小池知事の挨拶と、パラスポーツ応援大使猪狩ともかさんのアンバサダー就任式が行われました。猪狩さんは車いすに座ったまま着られる着物を着用して登壇しました。とても素敵でした。

○みんなをつなぐコンサート (17日)

様々な人権課題を抱えた当事者の方々によるパフォーマンスを行いました。

新宿会場でも歌っていただいた和製スティービーワンダー・木下航志さんによるパフォーマンス。日本人の父親とガーナ人の母親を持つシンガー・矢野デビットさんによるピアノ弾き語り、ソプラノとテノールの声を歌い分ける両声ヴォーカリスト・マリアセレンさんの大迫力の歌唱など、その素晴らしいパフォーマンスと、当事者としてご自身の経験を話していただき、いろいろな気づきを与えていただきました。会場は感動と笑顔に包まれました。



小池知事あいさつ



猪狩ともかさん
アンバサダー就任



トークショー



矢野デイビットさん



マリアセレンさん

【ホールD5】

○人権を考える映画会

「グリーンブック」「めぐみー引き裂かれた家族の30年」「志乃ちゃんは自分の名前が言えない」といった人権課題がテーマとなっている映画を上映しました。「めぐみ」では拉致問題の解説や政府の取組紹介やブルーリボングッズの配布も行い、署名活動も行いました。

多くの方々にご来場いただき、映画を通して、様々な人権問題について考えていただきました。

○ロバート キャンベルさん講演

日本文学研究者でコメンテーターとしても活躍中のロバート キャンベルさんに『ちがいを』を持つ人々との豊かな出会いに向けて』をテーマに講演していただきました。様々な価値観を持つ人々が生きやすい社会のあり方について考えさせられました。



めぐみ上映会



拉致署名活動



ロバート キャンベルさん

【D5・D6ホワイエ】

○人権課題パネル展

ホワイエで、様々な人権課題の啓発パネルを展示しました。多くの方が足を止め、パネルに見入っていました。



【ホールD1】

子供たちに大人気の「スター☆トゥインクルプリキュアショー」を行いました。様々な人の人権を守るというテーマで人権の大切さを伝えるステージになりました。子供たちは、大好きなプリキュアと一緒に踊ることができて、とても楽しそうでした。

【ロビーギャラリー】

○バリアフリー体験

車いすに乗っての段差体験や、アイマスクをしての歩行体験など、実際に体験することにより、「何がバリアフリーに必要なか」、「どうすれば障害のある方を上手にサポートできるか」「視覚障害の方が連れている盲導犬に対してどう対応すればよいのか」といったことを体験していただきました。

○世界の民族衣装体験

世界には多くの国があり民族があります。そのことを体感していただくために、世界各国の民族衣装を着ることができる体験会を実施しました。それぞれの民族や国の説明パネルで学びつつ、カラフルな民族衣装を着ていただきました。

○車いすに座ったまま着物が着られる体験

車いすに座ったままでも着物がワンタッチで着られるので、車いすの方をはじめ、多くの方に体験していただきました。体験していただいた方の撮影会が始まるなど、みなさん大喜びでした。

※ 上述の3つは、法務省委託「人権ユニバーサル事業」として実施しました。



バリアフリー体験



世界の民族衣装体験



車いすに座ったまま
着物が着られる体験
(二條実穂さん)

○障害者スポーツ体験

車いすバスケットボールと5人制サッカーを行いました。どちらの競技も、パラリンピックの正式種目で、漫画やアニメになっていることもあり、小さなお子様からご年配の方々まで、多くの方々に体験していただきました。「車いすの操作は思ったより難しかった。」「視覚を遮られることがこれほど大変だとは思わなかった。」との意見が多く寄せられました。

○ボルダリング

2.5mのボルダリングの壁に多くの方にチャレンジしていただきました。

視覚障害の方が行うことを初めて知ったという方も多く、アイマスクをしてのボルダリング体験もしていただきました。



車いすバスケットボール



5人制サッカー



ボルダリング

○東京 2020 大会 PR

新宿駅西口会場に引き続き、こちらでも、東京 2020 大会エンブレムパズルを設置しました。多くの方々に、エンブレムに込められた思いをお伝えしました。

○革でつくる犬のキーホルダー

(公財) 東京都人権啓発センターの協力で、実施しました。短時間で可愛いキーホルダーが作れるということで、多くの方が参加されました。時間帯によっては、お待ちいただく方もいらっしゃるほどでした。



エンブレムパズル



キーホルダー



キーホルダー

○パネル展示

様々な人権課題等に関するパネル展示を行い、多くの方にご覧いただきました。



【ガラス棟会議室】（16日）

○多文化共生プレゼンコンテスト

「多文化共生都市をめざして—大学生が考える東京の未来」をテーマに、大学生たちが熱のこもったプレゼンを繰り広げました。参加された方からは「認識を見直すきっかけになった」「学生たちの熱意が伝わった」とのご意見がありました。

○心のバリアフリー

児童・生徒が心のバリアフリーについて考える機会とするとともに、都民への普及啓発を推進することを目的とした『心のバリアフリー』普及啓発ポスターコンクール表彰式と、心のバリアフリーに対する社会的気運の醸成を図るため、優れた取組を実施している企業等より事例発表をしていただく「東京都『心のバリアフリー』好事例企業報告会」を実施しました。

○東京人権啓発企業連絡会の取組発表

現役パラアスリート及び各所属支援企業担当者による、競技実演と取組紹介を行いました。車いすバスケットボールの秋田啓さん、5人制サッカーの田中章仁さんの高度なテクニックやお話にて会場は大いに沸きました。



プレゼンコンテスト



心のバリアフリー



東京人権啓発企業連絡会の発表

【地上広場】

○復興支援3県（16日）・障害者就労施設（17日）による物販

16日は、東日本大震災からの復興支援を目的として「岩手県」「宮城県」「福島県」の販売店にご出店いただきました。また、17日は、障害者の就労支援を目的として、豊島区、荒川区、国分寺市の障害者就労施設の方々にご出店いただき、パンやお菓子、アクセサリ、グリーティングカード、バッグなど、たくさんの手作りの商品を販売していただきました。

両日ともに、多くの方々にお立ち寄りいただき、お買い上げいただきました。商品の購入を通じて、被災地の復興支援や障害者の就労支援にご協力をいただきまして、ありがとうございました。

○拉致問題解決を願う署名活動

新宿駅西口会場に引き続き、署名活動を行いました。多くの方々にご署名いただきました。どうもありがとうございました。



復興支援物販



障害者就労支援施設物販



総合受付

○キャラクターグリーティング

毎年、人権啓発活動に協力してくれている、東京ヤクルトスワローズのつば九郎と、FC東京の東京ドロンパが遊びに来てくれました。会場のいたるところで撮影会が始まり、多くの人が笑顔に包まれました。



つば九郎



東京ドロンパ